

11月25日曜日、社会科見学のため、大田原市立佐久山小学校の5年生18名が来場しました。見学では、栃木県の水産業や水産試験場の役割、地域の水産生態系の保全活動について学びました。

国の天然記念物であるミヤコタナゴの飼育施設を見学した際には、ミヤコタナゴの保全研究や地域住民の保全活動について担当者から説明を受けました。児童の一人は「栃木県と千葉県にだけ生息している貴重な魚が大田原市に生息していることに驚いた」と感想を述べていました。

今回の見学が、児童みなさんの地域理解の一助となり、郷土の豊かな自然環境に愛着を持つきっかけとなれば幸いです。

